

日本高等教育学会 第4回大会

プログラム

『新しい大学教育の設計』

2001年5月25日（金）～26日（土）

北海道大学

シリーズ 教養教育改革ドキュメント1 監修 寺崎昌男・絹川正吉
全学共通カリキュラム

立教大学〈全カリ〉のすべて

—リベラル・アーツの再構築—

全カリの記録編集委員会編著

A 5判・並製・326頁・2100円

〔執筆〕青木康・今田晶子・宇佐見博・遠藤裕子・斎藤宏・佐々木一也・実松克義・白石典義・塚田理・寺崎昌男・所一彦・烏飼玖美子・中川泰夫・西田邦昭・野田嶺志・渡辺信二

「全カリは全面的な改革であった。」「制度やかたちを変えることよりも、肝心の大学教育の中身を、学生の日々の学びの場を、どう改善、充実、発展させるか」——一般教育部の学部化ではなく、それを廃止し、教養教育課程の責任主体を新設し、更に各学部カリキュラムの抜本的見直しにまで至った〈全学共通カリキュラム〉実現の全過程、その理念・方法・組織そして課題の全てを語る、大学人必読のドキュメント。

〔主要目次〕はしがき はじめに 基本資料 立教大学(教育研究部門)組織図/立教大学全カリ運営センター組織図/略年表/全カリ概念図/全カリ学部別必修単位数表 1 改革の概観 カリキュラム改革の胎動/全カリ運営センターの誕生/全カリで変わったもの 2 科目展開と履修方法 言語教育科目/総合教育科目/全カリと学部の新しい関係 3 教員人事と科目担当 科目担当ルールと専任講師/嘱託講師/非常勤講師/総合B群科目の担当 4 全カリ運営センターの組織 組織の構造と特徴/委員会運営/事務組織 5 事務職員とカリキュラム改革—全カリ始動前後の教学支援 全カリ事務室と全カリ教務課/教務部の支援/大学教育研究部事務室の支援/他部局の支援 6 学生・社会・全カリ 学生にとってのカリキュラム改革/学生へのアプローチ/パブリック・リレーションズ 21世紀への展望と課題—あとがきにかえて 巻末資料 コラム①—⑦

宇佐美 寛著

大学の授業

A 5判・上製・244頁・2500円

「ひんぱんに指名して問題を出し答えさせる。毎時間、レポートを課し、朱を入れて返す。半年で約20冊の課題図書を読ませ試験する。三分の一の学生が、試験ができないで不合格になる。」「読み書き能力こそ学力の基礎」と確信する著者の白熱の授業の全貌を具体的に明かした本書は、刊行とともに注目を浴び、たちまち2刷。とくに大学教員必読の書。——「大学教育センターが各地の国立大学にできた。いろんな授業の改善例が発表されている。だがこれほどすごい報告を知らない。」(『内外教育』2000年4月7日号書評より)

〔主要目次〕はじめに 1 「大学生の言語能力」 2 「学生は読んでいない」 3 定刻と遅刻 4 おじぎ・着席・受講票 5 講義をやめよう 6 「貴族の義務」(noblesse oblige) 7 レポートを課す レポートを課す目的/レポートを課すための指示/第①回のレポート提出の日—その場での即時の指導 8 レポートの評価と指導 9 「課題図書」 10 試験 11 学生の感想 12 〈授業〉に関わる大学運営 学生による授業評価/「飛び入学」/新入生対象導入教育—「学問へのオリエンテーション」セミナー/「千葉大学普遍教育改革の基本方針(案)」 結論

〔近刊〕

館 昭著

A 5判・予3800円

館 昭編著

四六判・予2000円

日本近代大学形成の諸相(仮題)

短大ファーストステージ論II

〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-1
E-Mail: tk203444@fsinet.or.jp

東信堂

TEL 03-3818-5521(代) [表示価格]
FAX 03-3818-5514 [は税別です]

ご 挨拶

新しい大学教育の設計

改革の嵐のなかで21世紀を迎えた日本の大学は、さらなる展開を求められています。とくに、国立大学では、大学評価・学位授与機構による評価が開始され、各大学は、その教育目的・目標にそった教育をいかに具体的に構築しているか、どのように個性ある教育を展開しているか、教育改革、教育改善をどのように実りあるものとしているかが問われています。そして各大学には、21世紀に適応した新しい大学教育の設計が必要となっています。北海道大学は、日本高等教育学会第4回大会を担当するにあたり、「新しい大学教育の設計」という全体テーマを提案させていただきました。



大学教育の設計に関わる高等教育の要素を、わたしたちは、日本の高等教育・大学改革の国際的位置づけを知る「国際動向」、大学への社会的ニーズ、ニーズに応える大学教員の教育資質開発（ファカルティ・ディベロップメント）と関連して「政策」、大学の存在をささえる「財政」、大学へ進学する学生の入り口である「入試・進学」、学生がうける授業科目群の全体設計である「カリキュラム」、教育の実践の場である授業について「授業分析・開発」、高等教育における大学と社会との連携と関連して「社会連携」、そして高等教育の中心にある学生をみる「学生論」とに分類しました。各大学は、教育の設計にあたって、これらの要素を検討し、その具体化から教育の実体がみえるように社会に説明できることを求められます。

また、教育改革の最前線は、学生と教師が直接にふれあう「授業」です。とくに今日の大学改革では、大学全体としての授業改善に組織的に取り組む必要があります。そこで、シンポジウムのテーマを「大学の授業を設計する—組織的な取り組みから—」として、先進的授業改善をとりあげ、一般にも公開します。

さらに、学会事務局の研究部からは、課題研究のテーマとして「高等教育改革の世界的動向」と「労働市場と大学教育」をいただきました。大学改革を国際基準および労働市場のニーズから展望しようというものです。

北海道大学では、1995年に教養部を廃止し、「高等教育機能開発総合センター」を発足させました。このセンターは、「入学者選抜企画研究部」「高等教育開発研究部」「生涯学習計画研究部」「全学教育部」の4部からなり、互いに連携しながら、現実的な教育の課題を研究し、成果を具体化させることをモットーとしてきました。わたしたちは、また、他の同様の機関から多くを学び、教育改革に生かして行きたいと考えています。大会前日のラウンドテーブル「大学教育研究センター等の活動に関する情報交換」にも大いに期待しております。

北海道大学は、日本で最初の学士号を与える学校として設立されて今年で125年目です。大会が行われます5月の下旬は、春満開の札幌、北海道大学の緑のキャンパスも最も美しい時期です。フロンティア精神に導かれたわたしたちの大学の歴史と新たな歩みに触れていただきながら、この大会で21世紀の日本の大学の在り方、各大学の教育改革の方向性を具体的に学び取っていただければ幸いです。多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

日本高等教育学会第4回大会 実行準備委員長 阿部 和厚

日本高等教育学会第4回大会実行準備委員会

実行準備委員長 阿部和厚

実行準備委員会

小笠原正明（庶務幹事）、小出達夫、西森敏之
町井輝久、木村 純、山岸みどり、小林 甫
細川敏幸、鈴木 誠、池田文人

日本高等教育学会 第4回大会

2001年5月25日(金)～26日(土) 北海道大学

大会日程

5月24日(木) 大会前日

14:00～17:00 ラウンドテーブル(p.14)
(4F E会場)

大学教育研究センター等の活動に関する
情報交換

17:30～19:30 理事会(4F E会場)

5月25日(金)

9:30～ 受付

10:30～12:15 自由研究1(p.7)

1. 政策 I
2. 財政 I
4. 入試・進学 I
7. 社会連携 I

12:15～13:15 編集委員会(4F E会場)

13:15～15:15 自由研究2(p.9)

1. 政策 II
2. 財政 II
4. 入試・進学 II
6. 授業分析・開発 I
7. 社会連携 II

15:30～18:00 課題研究1・2(p.14)

1. 高等教育改革の世界的動向
2. 労働市場と大学教育

18:30～20:30 懇親会
(於ビヤケラー札幌開拓使:バス移動)

5月26日(土)

9:30～ 受付

10:00～12:00 自由研究3(p.12)

3. 国際動向
5. カリキュラム
6. 授業分析・開発 II
8. 学生論

12:45～13:15 エクスカーション(p.15)
(情報教育館1Fホール集合)

13:15～13:45 総会

14:00～16:40 公開シンポジウム(p.15)
大学の授業を設計する
—組織的な取り組みから—

大会会場

北海道大学高等教育機能開発総合センター
情報教育館 3F, 4F, 6F (北区北17西8)
大会事務局 4F

懇親会会場

札幌ファクトリー・レンガ館 1F
ビヤケラー札幌開拓使
(中央区北2条東4丁目 tel:011-207-5959)

大会事務局

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
北海道大学高等教育機能開発総合センター 気付
日本高等教育学会第4回大会実行準備委員会
TEL: 011-706-7520 FAX: 011-706-7521
e-mail: thoso@high.hokudai.ac.jp
home page: <http://socy.hokudai.ac.jp>

大会参加のご案内

参加費：大会参加費（事前）4,000円（当日）4,500円
懇親会費（事前）5,000円（当日）5,500円

- * 同封の「払込取扱票」にて、5月2日（水）までに郵便局で払い込み頂く場合には、事前料金とさせていただきます。
それ以降は、当日会場受付にてお支払い下さい。

「払込取扱票」を紛失された場合は、郵便局に備え付けのものにて、以下の要領で払い込み下さい。

口座番号： 02780-6-48262

加入者名： 高等教育学会札幌大会実行準備委員会

通信欄： (1)大会参加費と懇親会費の内訳、(2)お名前とフリガナ、
(3)ご所属、以上を明記して下さい。

- * 大会会場および同封の「払込取扱票」（大会の郵便口座）では、学会年会費の納入は出来ませんのでご了承下さい。
- * 公開シンポジウムにつきましては、無料にて一般に公開して開催いたします。関係の方々にご周知頂けると幸いです。

食事：大会両日とも、昼食時に学内の食堂が営業いたします。会場の南西には『北大生協北部食堂』が、東には『食堂はるにれ』が利用できます。南に歩くと、『エンレイソウ』や『クラーク会館食堂』もあります。

宿泊：宿泊先の手配は各自でお願いいたします。

休憩室：情報教育館3Fに休憩室をご用意し、湯茶のコーナーを設けます。荷物のお預かりはいたしませんので、各自の責任でお持ち下さい。

交通案内：新千歳空港から札幌駅まではバス（中央バス・北都バス）かJR『快速エアポート』が便利です。料金は約1000円程度です。バスは約60～80分JRは約40分かかります。いずれも10分から15分間隔で運行されています。

会場に最も近い地下鉄の駅は南北線『北18条駅』です（徒歩約10分）。『JR札幌駅』からは徒歩約23分ほどかかります。

日程表

24 (木)

会場		14:00~17:00	17:30~19:30
E会場 4F		ラウンドテーブル	理事会

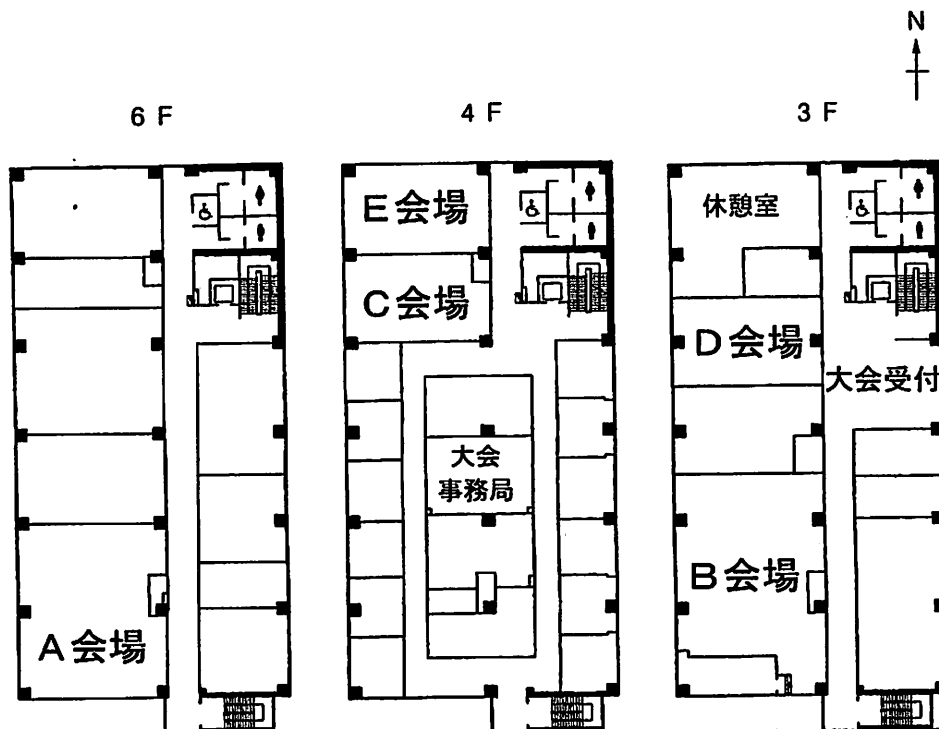
25 (金) 9:30より受付

会場	自由研究 1 10:30~12:15	昼食	自由研究 2 13:15~15:15	15:30~18:00	18:30~20:30
A会場 6F	7. 社会連携 I 7-1, 7-2, 7-3	編集 委員会	7. 社会連携 II 7-4, 7-5, 7-6, 7-7	課題研究 1	懇親会 ピャケラー 札幌開拓使 (バス移動)
B会場 3F	2. 財政 I 2-1, 2-2, 2-3		2. 財政 II 2-4, 2-5, 2-6, 2-7	課題研究 2	
C会場 4F	1. 政策 I 1-1, 1-2, 1-3, 1-4		1. 政策 II 1-5, 1-6, 1-7	\	
D会場 3F	4. 入試・進学 I 4-1, 4-2		4. 入試・進学 II 4-3, 4-4		
E会場 4F			6. 授業分析・開発 I 6-1, 6-2, 6-3		

26 (土) 9:30より受付

会場	自由研究 3 10:00~12:00	昼食	13:15~13:45	14:00~16:40
B会場 3F	5. カリキュラム 5-1, 5-2, 5-3, 5-4	エクス カー ション	総 会	公開シンポジウム
C会場 4F	3. 国際動向 3-1, 3-2, 3-3		\	
D会場 3F	8. 学生論 8-1, 8-2, 8-3			
E会場 4F	6. 授業分析・開発 II 6-4, 6-5, 6-6, 6-7			

情報教育館 配置図



5月25日(金) 10:30～12:15 自由研究1

○印：当日発表者

4 F C会場

1. 政策 I

司会：馬越 徹（名古屋大学）

10:30～10:55 1-1 保健・医療系における専門職養成の制度化プロセスに関する研究
－臨床・衛生検査技師を題材として－
○宮本京子（九州大学大学院）・吉本圭一（九州大学）

10:55～11:20 1-2 3年課程以上の専門学校教育の特徴と問題点
－福祉専門教育を中心に－
○大友達也（北海道大学大学院）

11:20～11:45 1-3 大学職員の能力開発方策に関する研究
○山本眞一（筑波大学）

11:45～12:10 1-4 国立大学教養部の解体と教員の配属
○吉田 文（メディア教育開発センター）

12:10～12:15 総括討論

3 F B会場

2. 財政 I

司会：丸山文裕（椋山女学園大学）

10:30～10:55 2-1 財務指標から見た私立大学の経営行動
○両角亜希子（東京大学大学院）・金子元久（東京大学）

10:55～11:20 2-2 私立大学経営と基本金組入額
○田中敬文（東京学芸大学）

11:20～11:45 2-3 大学の研究活動のための外部資金－受入研究費の動向から－
○阿曾沼明裕（名古屋大学）

11:45～12:15 総括討論

3 F D会場

4. 入試・進学 I

司会：夏目達也（東北大学）

10:30～11:15 4-1 ニュージーランドにおける大学入学者選抜の動向について
○倉元直樹（東北大学）・○鈴木 誠（北海道大学）

11:15～11:40 4-2 到達度評価に基づく入学者選抜の課題
ーオレゴン州における PASS の事例からー
○山岸みどり（北海道大学）・小出達夫（北海道大学）

11:40～12:15 総括討論

6 F A会場

7. 社会連携 I

司会：山田礼子（同志社大学）

10:30～10:55 7-1 海外でのインターンシッププログラムの実施
○長山道代（早稲田大学）

10:55～11:50 7-2 日本的インターンシップへの高校・大学・企業の関与に関する実証的研究
○吉本圭一（九州大学）・○福岡哲朗（九州大学大学院）
宮本京子（九州大学大学院）・○岡本信弘（市立博多工業高等学校）・稲永由紀（広島大学）

11:50～12:15 7-3 社会科学系教員における大学＝地域連携・交流
○稲永由紀（広島大学）

（総括討論）

5月25日(金) 13:15～15:15 自由研究2

○印：当日発表者

4 F C会場

1. 政策Ⅱ

司会：金子元久（東京大学）

- 13:15～13:40 1-5 高等教育における女性研究者の実態について
○登谷美穂子（京都大学）
- 13:40～14:05 1-6 高等教育政策と学術・科学技術政策の連携・統合に関する研究2
○塚原修一（国立教育政策研究所）
喜多村和之（私学高等教育研究所・早稲田大学）
- 14:05～14:30 1-7 ユニバーサル段階の大学教育
○原 康夫（帝京平成大学）
- 14:30～15:15 総括討論

3 F B会場

2. 財政Ⅱ

司会：羽田貴史（広島大学）

- 13:15～13:40 2-4 人口減少期における大学法人の研究
－収容力の拡大と縮小－
○猪股歳之（東北大学大学院）・荒井克弘（東北大学）
- 13:40～14:05 2-5 教育と経済成長：都道府県別データによる検証
○橋本圭司（阪南大学）
- 14:05～14:30 2-6 情報通信(IT)関連人材育成の改革に関する調査について
○神谷武志（大学評価・学位授与機構）
宮崎和光（大学評価・学位授与機構）
- 14:30～14:55 2-7 好況期アメリカ経済における州立大学財政の最新動向
－その自律的な資源配分をめぐって－
○塙 武郎（筑波大学大学院）
- 14:55～15:15 総括討論

3 F D会場

4. 入試・進学Ⅱ

司会：池田輝政(名古屋大学)

- 13:15～13:40 4-3 大学入学者選抜の成功要因にかんする認知構造
○村山詩帆 (東北大学大学院)
- 13:40～14:35 4-4 国際的「大学ランキング」－視角・ものさし・バイアス－
○小林雅之 (東京大学)・金子元久 (東京大学)
矢野眞和 (東京大学)・○間渕泰尚 (東京大学)
○大多和直樹 (東京大学)
- 14:35～15:15 総括討論

4 F E会場

6. 授業分析・開発Ⅰ

司会：小笠原正明(北海道大学)

- 13:15～13:40 6-1 大学における数学基礎教育の現状と課題
○西森敏之 (北海道大学)
- 13:40～14:25 6-2 高等教育における「やる気を出す学び」の研究
－学習達成目標を中心に(その2)－
○野口和枝 (秋草学園短大)・○稲越孝雄 (文教大学大学院)
- 14:25～15:10 6-3 大学授業の参加観察プロジェクト報告(その1)
－大学授業の参加観察からFDへ－
○石村雅雄 (京都大学)・○藤岡完治 (京都大学)
- 15:10～15:15 総括討論

6 F A会場

7. 社会連携Ⅱ

司会：山田達雄（中村学園大学）

- 13:15～13:40 7-4 大学改革における大学と社会との連携に関する一考察
－北海道大学工学部・工学研究科卒業生の意見を事例として－
○小林 甫（北海道大学）
- 13:40～14:05 7-5 職業生活における教養教育と専門教育の位置付けに関する一考察
－北海道大学工学部・工学研究科卒業生の意見を事例として－
○笹井宏益（国立教育政策研究所）
- 14:05～14:50 7-6 高等教育機関と地域社会のパートナーシップの現段階
－アメリカ・オレゴン州における事例研究－
○小出達夫（北海道大学） ○町井輝久（北海道大学）
木村 純（北海道大学）
- 14:50～15:15 7-7 大学通信教育を活用したコンソーシアム
－シームレスな大学教育の可能性－
○南 学（静岡文化芸術大学）

（総括討論）

5月26日(土) 10:00～12:00 自由研究3

○印：当日発表者

4F C会場 3. 国際動向 司会：有本 章 (広島大学)

10:00～10:25 3-1 大学教育改革現地報告：ポートランド州立大学における教養教育と
理科系教育
○小笠原正明 (北海道大学)

10:25～10:50 3-2 大学教育改革現地報告：英国エジンバラ大学とアルスター大学
○細川敏幸 (北海道大学)

10:50～11:35 3-3 日本とハンガリーにおける大学院生の進学動機と研究指導
○サポー・オルショヤ (広島大学大学院)・○山崎博敏 (広島大学)

11:35～12:00 総括討論

3F B会場 5. カリキュラム 司会：荒井克弘 (東北大学)

10:00～10:25 5-1 大学におけるカリキュラムの構成要素とその実態
－文学部の場合－
○杉谷祐美子 (日本学術振興会特別研究員)

10:25～10:50 5-2 医学生と看護学生の合同によるSGLでの倫理教育
○庄司進一 (筑波大学)・紙屋克子 (筑波大学)

10:50～11:15 5-3 アメリカの大学におけるビジネス・スクールの成立期に関する研究
－カリキュラムの構築過程を中心として－
○福留東土 (広島大学大学院)

11:15～12:00 5-4 女子学生のキャリア開発の試行
－キャリア・カウンセラー導入の試み－
○潮木守一 (武蔵野女子大学)・○市川幸子 (武蔵野女子大学)

(総括討論)

4 F E会場

6. 授業分析・開発Ⅱ

司会：石村雅雄（京都大学）

- 10:00～10:25 6-4 授業評価実践研究に関する基礎研究
○沖 清豪（早稲田大学）
- 10:25～10:50 6-5 大学授業における授業分析の方法論的検討
○河井正隆（大阪大学大学院）
- 10:50～11:15 6-6 学生の授業評価をもとにした教授法の自己評価の試み
○橋本健夫（長崎大学）
- 11:15～12:00 6-7 大学授業改善におけるティーチング・ティップスの役割とその課題
○近田政博（名古屋大学）・○中井俊樹（名古屋大学）
井手弘人（名古屋大学）・池田輝政（名古屋大学）

（総括討論）

3 F D会場

8. 学生論

司会：館 昭（大学評価・学位授与機構）

- 10:00～10:45 8-1 生活時間調査からみた現代大学生の生活と意識
－3大学調査から－
○岩田弘三（武蔵野女子大学）○浜島幸司（上智大学大学院）
- 10:45～11:10 8-2 M. ウェーバーの学生論
○西根和雄（広島大学）
- 11:10～11:35 8-3 フランスの学生文化における「経済問題」の拡大
－1960年代以降の学生生活調査の再検討－
○大前敦巳（上越教育大学）
- 11:35～12:00 総括討論

5月24日(木) 14:00 ~ 17:00 ラウンドテーブル

4F E会場 大学教育研究センター等の活動に関する情報交換

現在、全国のかなりの大学において大学教育に関する研究センターの設置が進んでいる。これらのセンターは、大学改革や高等教育研究に貢献しており、今後一層の活動が期待されている。今回新企画としてもうけたラウンドテーブルでは、このような状況を踏まえ、各センターがどのような目的で設置され、どのような活動をしているかなどの情報交換を行う。どなたでも参加できます。

司会：有本 章 (広島大学)

北海道大学の大学改革とセンターの役割

小笠原正明 (北海道大学)

東京大学大学総合教育研究センターの現状と課題

金子 元久 (東京大学)

桜美林大学高等教育研究所の現状と課題

出光 直樹 (桜美林大学)

大学教育研究センター等に関する我が国内外の状況と課題

山野井敦徳 (広島大学)

5月25日(金) 15:30 ~ 18:00 課題研究1・2

6F A会場 1. 高等教育改革の世界的動向ーグローバル化への対応

いま、日本の高等教育は地殻変動的な変貌を遂げつつある。この変化は世界的なもので、ある種のグローバル・スタンダードが形成されつつある。課題研究1では世界各国の高等教育改革において「グローバル化」への対応がいかになされているかを比較検討し、日本の高等教育の在り方を模索する。

司会：館 昭 (大学評価・学位授与機構)

イギリスの高等教育におけるグローバル化への対応

安原 義仁 (広島大学)

アメリカの高等教育におけるグローバル化への対応

江原 武一 (京都大学)

ドイツの高等教育におけるグローバル化への対応

吉川裕美子

(大学評価・学位授与機構)

中国の高等教育におけるグローバル化への対応

苑 復傑

(メディア教育開発センター)

3 F B会場 2. 労働市場と大学教育

大学を卒業しても就職しない、あるいはできない学生が増えている。国公立大学では学部教育の改革が進展し、私立大学では新名称学部の設置が続いている。課題研究2では最近の大学教育と職業との間の関連を報告し、広い視野から議論を深める。

司会：荒井 克弘（東北大学）

大卒者と労働市場に関するマクロ的な動向分析

若者たちの新しい進路選択、ライフスタイル

新名称学部の就職動向

討論者：矢野 眞和（東京工業大学／東京大学）

吉本 圭一（九州大学）

粒来 香（東京工業大学）

小方 直幸（広島大学）

5月26日（土）14:00～16:40 公開シンポジウム

3 F B会場 「大学の授業を設計する—組織的な取り組みから—」

教育改革の最前線は、教員と学生とが接触する授業にある。それぞれの大学が教育目標を達成するためには、組織的な教育戦略と連動した授業改善が必要である。ここでは授業改善のための具体的な方略を検討する。（シンポジストの演題は多少の変更の可能性がります）

司会：小笠原正明（北海道大学）

上級生による指導—オリター制度

授業法指導—ティーチング・ティップス

基幹総合大学における芸術科目

小グループ学習方式学生参加型授業の推進

社会連携授業

理科教育におけるグループ別課題研究

藤岡 惇（立命館大学）

池田 輝政（名古屋大学）

齊藤 紘一（東北大学）

阿部 和厚（北海道大学）

山本眞樹夫（小樽商科大学）

渡辺 儀輝（道立南茅部高校）

5月26日（土）12:45～13:15 エクスカーション

エクスカーションでは、北海道大学のモデル・バーンをご案内いたします。モデル・バーンは、クラーク博士在任中に着手され1877年秋に竣工した家畜のための木造建築物です。『動物たちに半年間の食糧とねぐらとを保証できる快適な牧舎』をクラーク博士が提唱し、設計しました。我が国の初期洋風建築の中でも実業に密接した機能的建築として記憶される国の重要文化財です。参加ご希望の方は12:45に情報教育館1Fホールに集合してください。

~~~~~ 新世紀を迎え、“元気モード” に!! ~~~~~

高等教育シリーズ第21・22集

◆新・大学入試広報の実践ガイド!!

全入期へのパラダイム転換——

# AO型入学選抜の多様な“進化”

～高校・大学の“教育接続”へのステップアップ～

[上巻]  
●2000年11月発行  
●A4判 318頁  
●21,500円(税込)  
[下巻]  
●2001年1月発行  
●A4判 330頁  
●22,000円(税込)

◆AO型入学選抜の中間総括と“進化”の条件◆

～2001年度入試240校余の大学・短大への飛躍的拡大

◆[ケーススタディ] 多様な挑戦と実際◆

～私立大学・短大18校/国公立大学3校の詳細事例

▶上巻

- 第1章 AO型入学選抜の中間総括と“進化”の条件  
田村哲夫、荒井克弘、高山裕司、榎學、小野博
- 第2章 [大学学部] 多様なAO型入学選抜への挑戦と実際  
岩手県立大学、東北大学(歯・工学部)、聖学院大学  
名古屋学院大学、関西大学、岡山理科大学、松山東雲女子大学
- 第3章 [短期大学] 多様なAO型入学選抜への挑戦と実際  
産能短期大学、金蘭短期大学
- 第4章 資料編

▶下巻

- 第1章 AO型入学選抜の多様な展開  
天野郁夫、荒井克弘、久保光弘、久野猛
- 第2章 [大学学部] 多様なAO型入学選抜への挑戦と実際  
東北学院大学、明海大学(歯学部)、早稲田大学(政治経済学部)、  
北陸大学(薬学部)、立命館大学、徳山大学、武蔵野女子大学(現代社会学部)
- 第3章 [短期大学] 多様なAO型入学選抜への挑戦と実際  
三育学院短期大学、広島文化短期大学
- 第4章 [2001年度新スタート] AO型入学選抜への挑戦  
北海道大学(経・理・歯・薬・水産学部)、八戸工業大学、成蹊大学(経済学部)
- 第5章 資料編 (敬称略)

|      |                                               |                                                           |
|------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 第20集 | 21 CNEW キャンパスの<br>創造と計画                       | 点検・評価から再開発・リニューアルへ、32論考<br>1999年12月刊 A4判 524頁 定価35,000円   |
| 第19集 | AO型入学選考の<br>運営と実際                             | 入試コンセプトの大転回—全入期戦略、14論考<br>1999年4月刊 A4判 332頁 定価24,000円     |
| 第18集 | [新訂版] 大学・短大の<br>改組転換・増設マニュアル                  | 設置認可申請ガイドの決定版、最新追補付<br>1998年11月刊 A4判 480頁 定価25,000円       |
| 第17集 | [事例編] 大学・短大の<br>改組転換・増設の実際〔下〕                 | ケーススタディ6 大学に学ぶ計画手法・実務のノウハウ<br>1998年4月刊 A4判 208頁 定価18,000円 |
| 第16集 | [事例編] 大学・短大の<br>改組転換・増設の実際〔上〕                 | ケーススタディ7 大学に学ぶ計画手法・実務のノウハウ<br>1998年3月刊 A4判 208頁 定価19,000円 |
| 第15集 | 新・高等教育の<br>デザインと政策展開                          | 25人のキーマンが奏でる新世紀の高等教育像<br>1997年10月刊 A4判 420頁 定価26,250円     |
| 第13集 | 編入学定員の設定<br>—その教育展開と経営評価                      | 急減期の定員確保、連携・接続型教育へ、7論考<br>1996年2月刊 A4判 222頁 定価19,879円     |
| 第12集 | 「オープン」型<br>短期高等教育への転換                         | ネットワークによる短大機能拡充計画、9論考<br>1995年12月刊 A4判 412頁 定価27,525円     |
| 第11集 | 短期高等教育システムの<br>新たなる可能性                        | 短大のレゾナント、生涯学習時代を拓く、13論考<br>1995年6月刊 A4判 456頁 定価28,543円    |
| 第10集 | 短期大学の“改組転換”<br>—その計画と実際                       | 学科改組、4大化へのリモデル手法、10論考<br>1995年1月刊 A4判 442頁 定価29,563円      |
| 第9集  | 新私学財務管理の開発と実践<br>[普及特価版] 岩田 齊昭 著              | 健全自立財務に向けた点検・評価と改善計画<br>1994年3月刊 A4判 668頁 定価29,563円       |
| 第7集  | 専修学校全論/1975-2000<br>[普及特価版] (本編・別冊セット) 関口 義 著 | 詳細かつ豊富な論考・データが語る将来像<br>1990年10月刊 A4判 1,128頁 定価34,661円     |

定価▷消費税・送料含む

●詳しいご案内パンフをお送りします。

☆インターネットは ☎ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp>

E-mail [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

TEL 03-3234-1231

FAX 03-3234-4993



地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0082 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2

▲新刊▼

# 現代大学の改革と政策

▲新刊▼  
歴史的・比較的考察  
喜多村和之 本体4500円  
大学と政府、財政と学費等の諸問題を制度・機能・変容・政策の面から考察し将来を展望。

# 未来形の大学

市川昭午 本体2800円  
近代大学の理念を失った大学に未来はあるのか。大学制度の実像とは？ 大学教育制度全般を俯瞰しながら、大学の行方を論ずる。

# 学長 大学改革への挑戦

天野郁夫編 本体2500円  
大学に改革が迫られているいま、リーダーとしての学長はどういう役割を果たせばいいのだろうか。一六人の学長へのインタビュー集。

# 大学授業のフィールドワーク

京都大学公開実験授業 京都大学高等教育教授システム開発センター編 本体2800円  
実験授業から教授法や学習のあり方を問い直す。授業過程を克明に観察・記録、分析した研究。

# 成長するティップス先生

授業デザインのための秘訣集  
池田・戸田山・近田・中井 本体1400円  
充実した関連項目参照、FAQ、索引で複合的に授業のコツを学べる。

## 日本の大学評価

高等教育研究第3集 本体2800円  
有益な政策提言までみずえた議論を展開する

## 高等教育研究の地平

高等教育研究第1集 本体3000円  
歴史・社会・文化に根ざした大学の特質とは

## 大学を語る 22人の学長

天野郁夫編 本体3000円  
変革期の大学について綴られた「詩と真実」

## 大学改革 日本とアメリカ

館昭 本体2800円  
これからの大学を考える上での視座を提示する

## 新版 戦後大学政策の展開

黒羽亮一 本体3600円  
昭和30年代から最近までの大学政策の展開

## 高等教育と政策評価

喜多村和之編 本体4800円  
戦後高等教育政策がもたらした帰結とは何か

## 高度情報社会の大学

トロウ/喜多村和之編訳 本体3800円  
情報技術の発達もたらす高等教育の新段階

## 大学個性化の戦略

セイモア/館昭・森利枝訳 本体4200円  
大学を運営するためのもっと良い方法とは？

## 科学技術社会と大学

アシュビー/宮田敏近訳 本体3200円  
科学技術革新により転換期を迎える高等教育

## 変わるニッポンの大学

荻谷剛彦 本体2500円  
日本の大学はどこへ向かおうとしているのか

## 高等教育の変貌と財政

市川昭午 本体4000円  
政府・大学・家庭、高等教育費を負担するのは

## 高等教育の経済分析と政策

矢野真和 本体4600円  
教育がもたらす所得分配への影響を考察する

## カレッジスポーツの誕生

スミス/白石・岩田監訳 本体4600円  
アメリカにおける自由の理念と学生スポーツ

## 現代アメリカ大学生群像

レヴィーンほか/丹治訳 本体2900円  
アメリカ大学生の実態は？その分析と提言

## 大学・高等教育の経営戦略

日本教育経営学会編 本体6400円  
教育経営の視座から改革の動向と戦略を吟味